

法学教室 2022年度 内容一覧
2022年4月号(No.499)～2023年3月号(No.510)

巻頭言	執筆者	掲載号	頁
技術革新と民事手続法	松下淳一	499	1
履行に代わる損害賠償と解除権の発生の要否	森田宏樹	500	1
曖昧さの功罪	川出敏裕	501	1
「ロス市警のコロンポっていいです」「でも、ここじゃ権限ないだろ」	斎藤 誠	502	1
法学のアントレ(61)～			
「大学図書館」に行こう	原田和往	499	2
大学図書館を巡る楽しみ	海道俊明	500	2
緑の丘の星ひかる図書館	所 浩代	501	2
図書館の楽しみ方	井畑陽平	502	2
法学を旅する(1)～			
総論(地域と法学)	丸橋昌太郎	500	5
建築協定	長谷川義仁	501	4
地域独自の地方税(法定外税)の活用	青木 丈	502	4
特集			
[4月号(499号)]			
特集・これからの社会で法・法学はどのような役割を果たせるのか			
I 社会のあり方・価値観の変容のなかでの憲法	曾我部真裕	499	6
II 社会の変容とこれからの民法・消費者法	大澤 彩	499	13
III 刑法学が社会のあり方の変容に対応するとき	深町晋也	499	20
IV 「法の使われ方」の変容をめぐって	谷口太規	499	27
[5月号(500号)]			
特集・これからの社会で法・法学はどのような役割を果たせるのか			
V パネルディスカッション・質疑応答	曾我部真裕・大澤 彩・ 深町晋也・谷口太規	500	12
[6月号(501号)]			
特集1 憲法の学習を身近に感じる			
I 婚姻と憲法—同性婚・別姓婚・非婚の共同親権を素材に	木村草太	501	10
II 移動の自由と社交の自由	岡田順太	501	15
III 表現の自由と差別	桧垣伸次	501	20
IV 障害者をめぐる人権問題—教育の場から	尾形 健	501	25
V 議院内閣制をめぐる憲法問題	只野雅人	501	30
VI 地方自治と外国人	近藤 敦	501	35
特集2 法学学習強化計画—憲法・民法・刑法を中心に			
座談会	松本哲治・下村信江・豊田兼彦	501	41
[7月号(502号)]			
特集 日常のトピックから民法を学ぶ			
I インターネット時代における名誉・名誉感情侵害	村田健介	502	10
II 高齢者の建物質貸借	角田光隆	502	16
III 「同性婚」に付与されるべき法的効果とは何か—札幌地裁令和3・3・17判決を契機として	大島梨沙	502	22
IV デジタルコンテンツの供給契約	馬場圭太	502	29
V デジタルプラットフォーム上の取引と民事責任	大澤逸平	502	35
国会概観			
時の問題			
敵対的買収防衛策をめぐる近時の裁判例の動向(上)	久保田安彦	500	27
敵対的買収防衛策をめぐる近時の裁判例の動向(下)	久保田安彦	501	56
「オンライン議会」	植松健一	502	41
著作権を侵害しないSNS投稿の基本と主要な事例解説	関 真也	502	47

判例クローズアップ			
コインハイブ事件(最高裁令和4年1月20日判決)	今井猛嘉	500	33
新法解説			
講座			
憲法事例分析の技法(1)～			
公立学校での宗教的装飾物と信教の自由	柴田憲司	499	36
国家による宗教に対する援助と国家による宗教的活動 ——政教分離原則違反の判断枠組み	坂田隆介	500	40
「不起立教員」と思想・良心の自由	堀口悟郎	501	65
プラカード掲示の差止め	御幸聖樹	502	56
行政法教室——トピックで学ぶ(13)～			
行政救済法の体系, 行政不服審査・行政審判・苦情処理	大橋真由美	499	61
行政訴訟概説	大橋真由美	500	49
処分性	正木宏長	501	73
原告適格	渡井理佳子	502	64
日本家族法を考える(12)～			
離婚の効果を考える	水野紀子	500	58
財産分与と婚約・内縁を考える		501	81
子の出生を考える		502	72
商法総則・商行為法の現代化に向けて(1)～			
形式的意義の商法と商法の適用範囲	得津 晶	499	45
商人・事業者・消費者 ——概念の相互関係	西内康人	500	64
商業登記の現代的機能	船津浩司	501	88
商法12条の現代化に向けた一試論	青木大也・清水真希子	502	78
流れをつかむ民事訴訟法(1)～			
民事訴訟手続の流れと基本原則	笠井正俊	499	54
訴えの提起と訴訟物		500	70
裁判所と当事者		501	95
訴状等の送達・第1回口頭弁論期日		502	85
刑法総論の基礎にあるもの(13)～			
被害者の同意	安田拓人	499	70
責任能力		500	77
原因において自由な行為		501	102
実行行為途中からの責任能力低下		502	92
演習		毎号	
憲法	江原勝行		
行政法	鶴澤 剛		
民法	池田雅則		
商法	久保大作		
民事訴訟法	林 昭一		
刑法	井上宜裕		
刑事訴訟法	中島 宏		

判例セレクト Monthly

判例の動き

憲法

性別の取扱い変更に関する制約の合憲性(最決令和3・11・30)	武田芳樹	499	99
無罪判決確定者のDNA型データ等の保管の許容性 (名古屋地判令和4・1・18)	毛利 透	500	101
旧優生保護法の合憲性と除斥期間の適用の制限(大阪高判令和4・2・22)	巻 美矢紀	501	125
道警ヤジ排除事件第一審判決(札幌地判令和4・3・25)	櫻井智章	502	115

行政法

使途基準に反する政務活動費の不当利得返還請求事件 (最判令和3・12・21)	米田雅宏	499	100
放置違反金納付命令の対象となる「車両の使用者」の意義 (広島高岡山支判令和3・7・15)	中原茂樹	500	102
大阪市ヘイトスピーチ条例最高裁合憲判決(最判令和4・2・15)	飯島淳子	501	126
特別地方交付税の額の決定取消請求事件(大阪地判令和4・3・10)	徳本広孝	502	116

民法

交通事故による車両損傷を理由とする損害賠償請求権の消滅時効の 起算点は身体傷害とは各別に判断されるとした事例 (最判令和3・11・2)	栗田昌裕	499	101
性別の取扱いの変更の申立てと「現に未成年の子がいないこと」要件 ——民法からの考察 (最決令和3・11・30)	羽生香織	499	102
不法行為に基づく損害賠償債務の遅延損害金と民法405条 の適用又は類推適用の可否(最判令和4・1・18)	田中 洋	500	103
離婚慰謝料が履行遅滞に陥る時(最判令和4・1・28)	村田大樹	501	127

商法

事前委任状送付株主による誤解に基づく総会当日の棄権の 議決権行使(大阪高決令和3・12・7)	得津 晶	499	103
会社法106条の通知を欠く売渡株式の共有者による 売買価格決定の申立て(長野地決令和3・10・8)	田澤元章	500	104
議決権行使書面の行使期限に関する法令違反の瑕疵と裁量棄却 (東京高判令和3・12・16)	潘 阿憲	501	128
善管注意義務違反を認識しつつなされた取締役の行為とD&O保険 (東京高判令和2・12・17)	伊藤雄司	502	117
人身傷害保険における「人傷一括払」と自賠責保険金の取扱い (最判令和4・3・24)	潘 阿憲	502	118

民訴法

再生計画案に賛成する旨の条項を含む和解と決議の不正 (最決令和3・12・22)	高田賢治	500	105
賃料減額確認訴訟における既判力の範囲(東京高判令和3・11・4)	越山和広	502	119

刑法			
勾留中に薬物譲渡の相手から差し入れられた現金の薬物犯罪収益性 (名古屋地判令和3・8・5)	和田俊憲	499	104
包括的共謀による共同正犯(福岡地小倉支判令和3・11・5)	十河太朗	500	106
いわゆるキャッシュカードすり替え型の窃盗罪につき実行の着手があるとされた事例 (最判令和4・2・14)	高橋直哉	501	129
車内で死亡した者の死体を乗せて自動車を走行させた行為と死体遺棄罪の成否 (福岡高判令和3・6・25)	杉本一敏	502	120
刑訴法			
業務上占有者の身分を有しない者が、その身分を有する共犯者の横領行為に共同正犯として加功した場合の公訴時効期間 (東京高判令和3・5・21)	佐藤由梨	499	105
逮捕するべき人を捜索するためにホテル客室に立ち入った行為が違法とされた事例(札幌地判令和3・11・4)	丸橋昌太郎	500	107
裁判員裁判における刺激証拠の取扱い(大阪高判令和3・4・19)	黒澤 睦	501	130
被疑者が出したごみの回収行為について令状によらない違法な捜索・差押えに当たるとされた事例(東京高判令和3・3・23)	田中優企	502	121
海外Topics			
REPORT			
早慶合同ゼミナール ブル太を取り返せ！——使用借主による盗品の回復請求	藤澤治奈・白石 大・田高寛貴	500	110
その他の記事			
「#生きづらさを生きていく。」をさらに一歩先へ。——第72回“社会を明るくする 法務省保護局		502	123
法律書ランキング			
全国大学生協／丸善ジュンク堂書店(2022年1月～3月)		500	123
Book Information			
法学部で学ぼうプロジェクト 編『「法学部」が面白いほどよくわかる——高校生が進路を考え始めたら』		499	33
幡野弘樹=齋藤哲志=大島梨沙=金子敬明=石綿はる美『フランス夫婦財産法』		499	34
法と心理学会 監修, 綿村英一郎=藤田政博=板山 昂=赤嶺亜紀 編『入門 司法・犯罪心理学』		499	80
山下友信『保険法(下)』		499	81
山本和彦 編著『子の引渡手続の理論と実務』		500	109
小柿徳武=伊藤吉洋=原 弘明=島田志帆『基礎から学ぶ商法』		501	62
横大道 聡=吉田俊弘『憲法のリテラシー——問いから始める15のレッスン』		501	64
嶋矢貴之=小池信太郎=品田智史=遠藤聡太『徹底チェック刑法——基本をおさえる事例演習』		502	54
泉水文雄『独占禁止法』		502	55
READER'S VOICE		毎号	
別冊付録			